



総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020年～2024年)

マイクロアグレッションを理解する

—無自覚な差別・排除への気づき

◆ 2024年10月4日(金)

●午後3時20分～午後5時00分

神戸三田キャンパス VI号館101教室

◆ 2024年10月11日(金)

●午前11時00分～午後0時40分

西宮上ヶ原キャンパス B号館101教室およびオンライン同時配信

◆ 講師／ ^{きむ}金 ^{うぢや}友子氏

(立命館大学 国際関係学部 国際関係学科 准教授)

◆ 参加方法／

【会場】事前申し込み不要

【オンライン】詳細は下記のURLまたは

QRコードからご確認ください。

<https://kg-humanrights.jp/pn9ydn>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、字幕をつけた動画を本学Webサイト等で配信する予定です。

■講演内容

「日本語うまいですね。いつ日本に来たんですか?」「留学生ですか?」「あなたがはっきりものを言うのは韓国の人だからですか?」「(大学の事務室で)コピー機が壊れたんですが……」。これらはなんてことのない日常のやりとりの一部です。本講演でテーマとするのは、差別やレイシズムといった語彙では語りにくい、非常に微妙な発言や行為です。たいていの場合、善良な人から発せられ、発言者自身が気づいていないばかりか、聞き手でさえもそれと気づかないこともあります。近年、こうした発言や行為を差別の一形態と捉え、「マイクロアグレッション」として問題化する議論があります。講演では、マイクロアグレッションの概念の成立の経緯、その現れ方と具体例、被害、どう防ぎ、どう対処できるのかについてお話しします。

■講師紹介

2000年に関西学院大学社会学部社会学科を卒業。専門領域は在日朝鮮人をめぐる問題、ジェンダー研究・フェミニズム理論。在日朝鮮人二世の日本における民族運動と学生運動について研究する傍ら、「アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク」メンバーとして在日朝鮮人女性が被る複合的な差別について調査している。論文に「立命館大学「チョン語」問題」(『政策科学』30巻3号、2023年)、共著に『レイシズムを考える』(共和国、2021年)、翻訳に『日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション—人種、ジェンダー、性的指向:マイノリティに向けられる無意識の差別』(共訳、明石書店、2020年)など。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansei.ac.jp